

コード番号

C118

講習名	【選択】有権者教育のためのメディアリテラシー・批判的思考力				
開設日時	8月28日(月)	担当講師	林 衛		
会場	富山大学(五福キャンパス)	募集人数	30人	時間数	6時間
認定対象職種	教諭・養護教諭	主な受講対象者	小学校、中学校・高等学校(特に国語・社会・理科)教諭、養護教諭		
受講料	6,000円	受講料以外の経費	なし		
講習の概要					
教科書や資料の内容を直接的に理解する機能的リテラシーだけでは、市民社会(市民を主権者とする民主社会)の構成員、すなわち有権者に必須な高次リテラシーは発揮できない。多様な思考、経験を持った市民が集まる社会で、批判的思考力、読解力を発揮し、物事を表からも裏からも多面的に吟味する能力の育成が、各国で市民性教育の柱として重要視されている。東日本大震災、原発、心のケア、スポーツ、学校保健、いじめ等に関するニュースあるいは社説比較分析から事例を選び、討論型授業を実施する。					
到達目標及びテーマ					
「発表ジャーナリズム」と呼ばれる新聞やテレビのニュース・報道の裏の裏を読めるようになるためのトレーニングに挑戦する。知識や批判的思考力があっても、それを生かせない壁はなぜできるのか、市民社会の主権者(有権者)として、壁に気づき、壁を崩し、乗り越えるための批判的・創造的ディスカッションの方法を身に付ける。					
講習の授業計画					
1. (9:00-10:20) 新聞記事の裏の裏を読む (クローン人間妊娠か報道、iPS臨床応用誤報/理研STAP細胞研究捏造と検証報道などを例に)					
2. (10:35-11:55) 「NHK対BBC」映像ドキュメンタリー情報の比較					
3. (12:55-14:15) 創造的ディスカッションのためのシックスハットゲーム(演習)					
4. (14:30-15:50) 事例検討:受講生のみなさんの関心にあわせた最近のトピックスを分析する					
5. (16:00-16:40) 筆記試験(討論型授業の設計を含む、筆記試験を実施)					
テキスト	お盆休みの前までに適宜メールにてお知らせする。PDFファイルで提供予定。				
参考資料等	お盆休みの前までに適宜メールにてお知らせする。				
修了認定(試験)の方法	筆記試験を実施する(人数が少ない場合は、効果を確認される口頭試問を採り入れる)。筆記試験の中には、討論型授業の設計を含む場合がある。				
留意事項 (各自で準備するものなど)	・当日の講習時間を有効に使うために、お知らせしたテキスト、参考資料に目を通した上で、検討してもらいたい事項をメールで連絡します。8月4日(金)までに以下の宛先へメールアドレスをお知らせください。 メール宛先: hayasci@edu.u-toyama.ac.jp(林) ・討論型授業設計のための資料の持ち込みは可能。				
備考	前年度「C114【選択】有権者教育のためのメディアリテラシー・批判的思考力」受講者(履修認定済)は受講不可				